

DX(Digital Transformation)は、デジタル技術と情報処理技術の飛躍的な進歩によって産業構造に変革をもたらし、技術革新の推進力として様々な分野において企業戦略の中核となっている。例えば工場や建築の現場では、より高度で複雑な生産工程やサービスがデジタルツインにより実現されており、マーケティング・商品開発・コンサルティングにおいても、画期的な手法が開発され成果を上げている。しかし、その実行レベルの度合いは事業規模を問わず企業間に大きな差があるのが実情である。

本講座では、DXによって変革する「ものづくり」現場の取組み事例を学ぶとともに、情報技術による新しいビジネス展開を理解する。加えて、そのために必要なグローバル時代を生き抜く力と心構えを身に付ける。これらを通じて、DXを支えるデジタル情報によって広がる世界を展望する。

令和5年度「教育ネットワーク中国」提供科目

# DX時代のものづくり

参加者募集

— デジタル情報で広がる世界を、どうとらえるか。 —

令和5年

9月30日[土]

10月 7日[土]・28日[土]

11月11日[土]・25日[土]

実施日時

令和6年

1月 6日[土]・20日[土]

13:00--16:35

実施場所

サテライトキャンパスひろしま  
広島市中区大手町1丁目5-3

募集対象

大学3年次生以上、大学院生 及び 現役社会人

募集人数

40人程度

応募が多い場合は、抽選等により決定いたします。

応募方法

本学HPの申込フォームより必要事項を記入のうえ、希望の講義日にお申込みください。  
<https://www.it-hiroshima.ac.jp/career/lecture/global/>

受講料

無料

募集期限

各講義の2週間前まで

受講要件

●広島県内に居住されている方  
●ノートPCまたはタブレットを持参できる方  
※講義内で使用します

修了証

所定の課程を修了し、一定の評価を得た者には、修了証を交付します。(教育ネットワーク中国の単位互換履修生は除く)

学校法人 鶴学園

広島工業大学

[主催] 学生・教務センター

[問い合わせ・申し込み先] 教学支援部(教務担当) 731-5193. 広島市佐伯区三宅2-1-1  
TEL:082-921-4178 FAX:082-921-8954 E-mail:kyoumu@it-hiroshima.ac.jp

## プログラム概要

本講義は、「DXで変わるものづくり現場」、「グローバル時代を生き抜く力」、「データによるマーケティングとビジネス」の3部で構成される。  
なお、講義は座学に偏らず、講師及び受講者を交えた討論や、グループワークなどの体験的な演習などを取り入れながら、知識を身に付ける。

# DX時代のものづくり

区分	内容	講師	日時
DXで変わるものづくり現場	<b>第1回 『ガイダンス』『生活とエネルギー』</b> 我々の生活を維持していくために、自分自身が直接的にエネルギーを利用するほか、目に見えにくい部分でも間接的にエネルギーが使われている。エネルギーなしでは現代の我々の生活が全く成り立たないことを説明する。	八房 智顯 (広島工業大学)	令和5年9月30日(土) 13:00~14:40
	<b>第2回 『DXを活用したカラー開発』</b> マツダが掲げるブランドテーマ「魂動デザイン」の思想「カラーも造形の一部」に基づいたプレミアムカラー開発は、デザイナーの感性とカラーを数値化して、その関係性のデジタル化で実現した。この挑戦について学ぶ。	中本 尊元 (マツダ株式会社)	令和5年9月30日(土) 14:55~16:35
	<b>第3回 『建設業界におけるDXと竹中工務店の取組み』</b> 建設業界では、生産性向上などの課題に対応するため、デジタル技術とデータの高度活用による事業の変革(DX)が急務である。竹中工務店の取組みを事例として紹介し、これからの建築とまちづくりについて考える。	金澤 英紀 (株式会社竹中工務店)	令和5年10月7日(土) 13:00~14:40
	<b>第4回 『情報社会におけるデザインの意義』</b> 曖昧に拡大することばの定義を超えて、「デザイン」の本質性を情報や社会という観点を切り口に探り、次世代に臨むための一助とする。	彌中 敏和 (株式会社GK デザイン総研広島)	令和5年10月7日(土) 14:55~16:35
	<b>第5回 『コンピュータ業界におけるグローバルスタンダードとDX』</b> すべてのモノがつながるIoTの時代、AIやDXといった言葉が飛び交うが、コンピュータ業界から見たグローバルスタンダードおよび今後何に取り組むべきかを考える。	岩田 恵一 (株式会社インタフェース)	令和5年10月28日(土) 13:00~14:40
	<b>第6回 『お多福グループにおけるデジタル化の取組み』</b> 食品業界やおたふくソースの業務特性を踏まえたデジタル化事例の紹介を通して、おたふくが業務プロセスの課題をDXの視点でどのように課題解決にチャレンジしたのかを学ぶ。	岡本 侯子 (おたふくホールディングス株式会社)	令和5年10月28日(土) 14:55~16:35
グローバル時代を生き抜く力	<b>第7回 『グローバルな人材とは一相互理解の心構えー』</b> グローバル化が進展する中で、日本社会の特質を踏まえたうえで異なる文化や価値観をもつ人々に接する際の心構えを理解する。更には、それらの人々と共に働き暮らすために身に付けるべき基本的態度について学ぶ。	上水流 久彦 (県立広島大学)	令和5年11月11日(土) 13:00~14:40
	<b>第8回 『ビジネスマナーとコミュニケーション』</b> AI・IoTといった技術・産業の革新が進む現代、忘れてはいけないのが人としてのあり方です。当たり前前だと思えることがはたして出来ているのでしょうか。ノンバーバルコミュニケーションの理解とマナーの本質を知ることで、真のマナー力を身に付け、情報が広がる世界の中でひとにしか作れない、感動を創造できるひとを目指していきたいと思えます。	崔 希美 (インターナショナルエアアカデミー 広島校)	令和5年11月11日(土) 14:55~16:35
	<b>第9回 『グローバル化とSDGs』</b> SDGs(持続可能な開発目標)の重要性を、国際政治上の文脈のみならず、社会・経済のグローバル化および地球環境問題の深刻化と結びつけて理解する。そして他人ごとではなく自分ごととして取り組む姿勢を学ぶ。	内藤 望 (広島工業大学)	令和5年11月25日(土) 13:00~14:40
データによるマーケティングとビジネス	<b>第10回 『異文化理解と海外市場への挑戦(食品業界)』</b> 文化・習慣・嗜好は国によって異なる。法規制や経済状況も含め、その国を良く知った上で商品開発・販売などの経営戦略を練らなければ、海外で成功することは難しい。企業の海外進出で取り組むべきことや心構えを学ぶ。	野口 英善 (三島食品株式会社)	令和5年11月25日(土) 14:55~16:35
	<b>第11回 『価値観データを用いた顧客体験価値創造』</b> 消費者の価値観をどのようにデータ化して、製品デザイン設計やコミュニケーション施策に反映していくのか。事例を交えて、顧客理解の重要性と最新のマーケティング手法を学ぶ。	和田 直之 (シナジーマーケティング株式会社)	令和6年1月6日(土) 13:00~14:40
	<b>第12回 『中小企業のマーケティングにおける市場データ活用の実例(鳥の目・虫の目・魚の目)』</b> 大手石油化学メーカーのマーケティング実務者として海外駐在を経験し、帰国後家業である老舗中小企業を黒字転換させた講師が、市場データの活用方法とマーケティング手法の基礎を具体例とともに平易に伝える。	野口 隆志 (株式会社ノックス)	令和6年1月6日(土) 14:55~16:35
	<b>第13回 『AI・ビッグデータのビジネス活用(コンサルティング業界)』</b> 昨今、コンサルティング業界においてもAIによるビッグデータのビジネス活用が広がっている。実際に導入した具体事例をもとに、「AIとは何か?」「具体的にどんな事が実現できるのか?」「ビジネス活用にあたりどのような前提条件があるのか?」を学ぶ。	里 洋平 (株式会社 VillageAI)	令和6年1月20日(土) 13:00~14:40
まとめ	<b>第14回 『まとめ』</b> 13回の講座を振り返り、様々なものづくり・ビジネス現場でのDXの活用と展開、そして、グローバル時代で必要となる力についての理解を深め、新時代の技術者となるためのアクションを考える。	村上 修二 福島 千晴 (広島工業大学)	令和6年1月20日(土) 14:55~16:35

講義終了後の海外現地研修(希望者のみ) ※状況によっては開催を中止する場合があります。

海外現地研修	本講義の受講者は、全講義受講終了後、「海外現地研修」として、海外で事業展開をしている企業を訪問し、意見交換および作業体験などを行うプログラム(約1週間)への参加を希望することができる。(研修に係る渡航費等は自己負担とする)	中国	令和6年 3月初旬~3月中旬
--------	---	----	-------------------